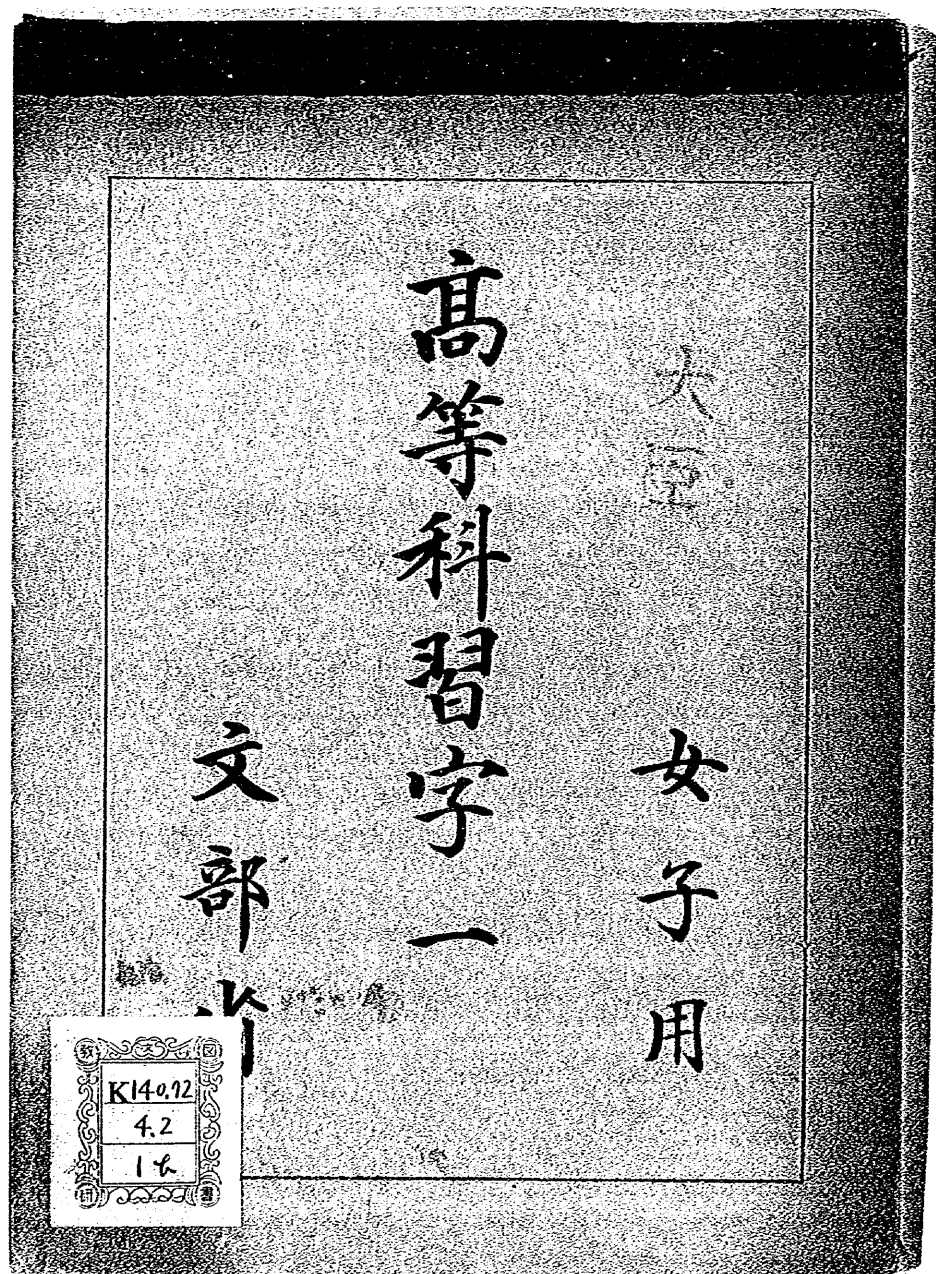




K140.72

4.2

1b

大豆

女子用

高等科習字一

文部省

K140.12
4.2
16

文部省

高等科習字一

女子用

國立教育研究所
附屬教育圖書館

花

忠

吹

靈

雪。

塔。

阿彌女

夜吹雪塔

地

天

久。

長

一
長久

11

地

天

久

長

節。	和
儉	順。
素。	貞

三
一 女 習 節

如冰 如雪

三

千	字	文。
百	人	首。
	一	

四
一

子
西
人
省

四
一

門を出て
十歩にあきの
うみ
ひるし

金剛子想

高麗文一

五

門を出て
十歩にあきの
うみ

五

己を盡くし人を

とがめがわる(が)誠の足ら

ざるを尋ねべし。

(南洲翁遺訓)

南洲翁遺訓

己を盡くし人を
とがめがわる(が)誠の足ら
ざるを尋ねべし。

六

旅人の

やどりせむ野にし

ふらば

わが子はぐくめ

天のたづむら

(愛國百人一首 進藤使臣人母)

旅人の

やどりせむ野にし

ふらば

わが子はぐくめ

天のたづむら

「われ奇襲に成功せり。」

指揮官機から、赫々たる

戦果の第一報が、航空

母艦へ飛んだ。

高橋女 一

奇襲に成功せり

指揮官機から、赫々たる

戦果の第一報が、航空

母艦へ飛んだ

元	旦	試	筆。
端	午	茶	摘。
殘	暑	遠	霞。
晚	秋	紅	蕤。
嚴	寒	鍛	鍊。
早	春	歸	雁。
盛	夏	朝	顏。
重	陽	栗	飯。
初	冬	演	習。
歲	暮	慰	問。

元旦	試	筆	早	春
端午	茶	摘	盛	夏
殘暑	遠	雷	重	陽
晚秋	紅	蕤	初	冬
嚴寒	鍛	鍊	歲	暮
歸	雁	早	春	歸
顏	朝	栗	飯	問

祖母の病氣については度々

御親切にお尋ね下されありが

たく存じ上げ候御かげ様にて

日に増し快方に向かひ床拂

高橋女一

+

祖母の病氣については度々

御親切にお尋ね下されありが

たく存じ上げ候御かげ様にて

日に増し快方に向かひ床拂

+

ひも近々のうちと存ぜられ候
間何とぞ御安心成し下され
たく候先づは御禮かたぐ
御知らせまで
かしこ

いふとてせられ
るにせられ候
はるにせられ候
はるにせられ候

老臣ども大敵なれば清洲を守り給へと詠む
れども聞き入れず酒宴して猿樂に羅生門の
曲舞を舞はせし時敵すてに攻め來たるもの
報あり信長少しも騒がず人間五十年下天
の内を比ぶれば夢幻のごとしといふところを押
し返し騒ひてたちまち螺を吹きたてさせ物
の具して主従わづかに六騎歩卒二百人ばかり
駆け出て熱田の宮に詣て願文を神殿に
納むる間に軍兵追つ續き來たりけり

老臣ども大敵なれば清洲を守り給へと詠む
れども聞き入れず酒宴して猿樂に羅生門の
曲舞を舞はせし時敵すてに攻め來たるもの
報あり信長少しも騒がず人間五十年下天
の内を比ぶれば夢幻のごとしといふところを押
し返し騒ひてたちまち螺を吹きたてさせ物
の具して主従わづかに六騎歩卒二百人ばかり
駆け出て熱田の宮に詣て願文を神殿に
納むる間に軍兵追つ續き來たりけり

二月二十五日 水曜日

午前十時の氣温 五度
温床の温度 二十五度

- 一 棚、日が當つて暖くなりきつたから、昨日の雨にぬれたこもを取つて干す。
- 一 なす苗がたいてい出揃ふ。芽の出方は後の壁の近くが早く、前の方が遅くたてある。
- 一 なす苗が所々に二本つゝ倒れてある。病氣の擴がるのを防ぐために、ゆわらの粉をまく。

二月二十五日 水曜日

午前十時の氣温 五度
温床の温度 二十五度

- 一 棚、日が當つて暖くなりきつたから、昨日の雨にぬれたこもを取つて干す。
- 一 なす苗がたいてい出揃ふ。芽の出方は後の壁の近くが早く、前の方が遅くたてある。
- 一 なす苗が所々に二本つゝ倒れてある。病氣の擴がるのを防ぐために、ゆわらの粉をまく。

(伴勝原行成筆 和漢朗詠集)

者(は)るる春(す)みたつを見て、
ゆるる利(り)の花な支(き)ちと爾(に)須(す)る
やならくる り世(せ)

山腰、歸鴈(雁)斜(斜)牽(牽)帶(帶)、水面、新虹、
未展(未展)巾。在中

山腰歸鴈斜牽帶水面新虹
未展巾 在中
かたみづのうねり
かたみづのうねり
かたみづのうねり

(監正) 田中

11. 7. 91

秘下度候來月ハ(は)十五六

帛(紙)に御し多(た)ゝめの上御送り

「社」頭花「四月五日前に懷

鑑賞

29
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

九月十七日發之報，且因

孔侍中，信書想必至，不

云領軍疾復問，

(王羲之書 九月十七日帖)

力而無下大之則

宙細之則攝拾豪

(王羲之書 聖教序)

九月十七日發之報，且因
孔侍中，信書想必至，不
云領軍疾復問，

力而無下大之則
宙細之則攝拾豪

禮。別。尊。卑。上。和。
下。睦。夫。唱。婦。隨。

（曾本禮 禮記千字文）

禮記 四

禮記 一

禮。別。尊。卑。上。和。
禮。易。別。尊。卑。上。和。
睦。夫。唱。婦。隨。
下。睦。夫。唱。婦。隨。

信、徒、諸、法、營、業、覺、宿。

吹、須、形、疎、殊、緣、惡、照。

近、延、神、袖、將、情、接、梅。

別、列、前、外、來、成、書、出。

參考一

留聲五

信、徒、諸、法、營、業、覺、宿。
吹、須、形、疎、殊、緣、惡、照。
近、延、神、袖、將、情、接、梅。
別、列、前、外、來、成、書、出。

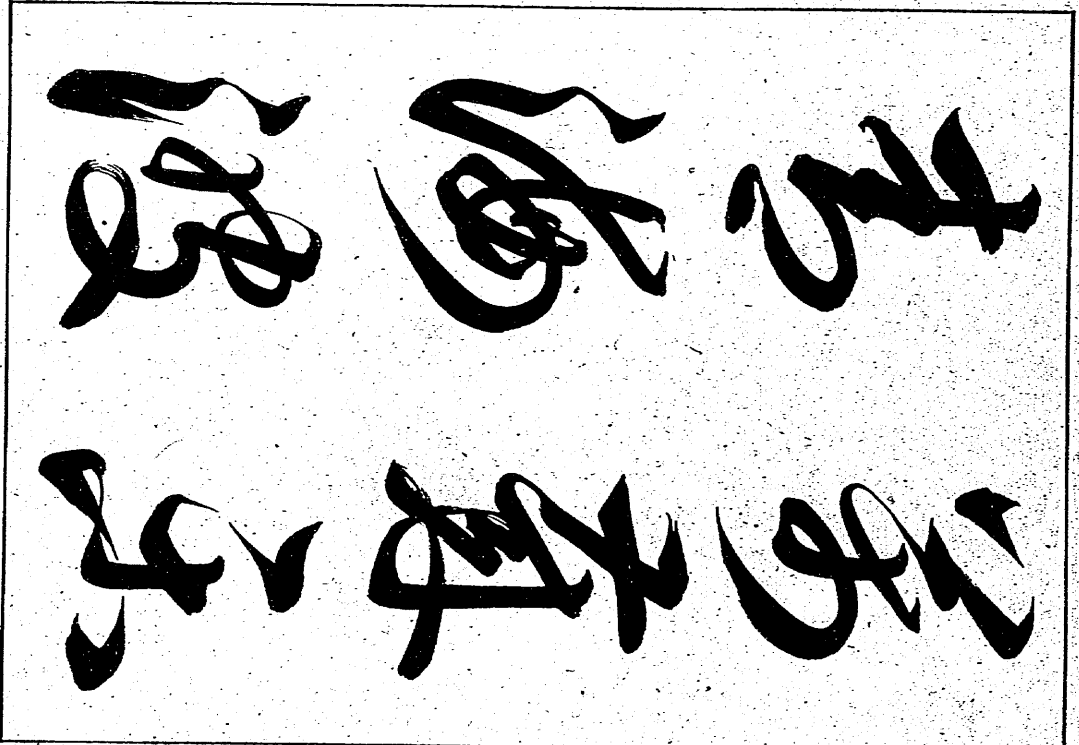
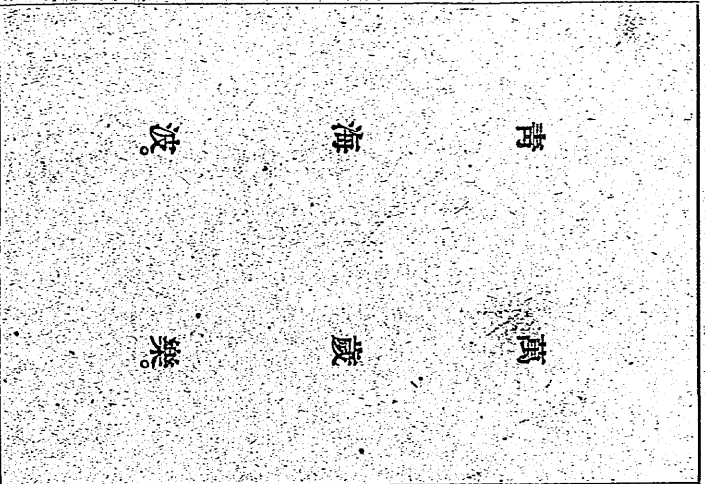
いら。あ。る。と。き。
 いた。い。た。と。も。
 な。は。あ。ん。な。が。る。
 い。ら。い。あ。る。で。した。

第 二

第 一

是。が。あ。る。と。き。
 是。が。あ。ん。な。が。る。
 是。が。あ。い。た。と。も。
 是。が。あ。ら。う。で。した。

十 九



送	夕	遠	寺	鐘
舍	雨	孤	村	樹

參 考 四

(本 平 肥)

經 緯 一

送夕暮寺鐘
舍雨孤村樹

昭和十九年五月六日印刷
昭和十九年五月九日發行

(非賣品)

著作權所有

著者 行作 啓衆

文

部

省

東京都下各區二區町一審地
出版印刷株式會社

印刷者 井上源之丞

東京都下各區二區町一審地

印刷所 凸版印刷株式會社

